

1 市の概要（H30年度）

人口	128,800人
保護率	0.83%

2 支援状況調査（H30年度）

新規相談受付件数人口10万人当 (件) 一月当たり	13.4
プラン作成件数人口10万人当(件) 一月当たり	3.4
就労支援対象者数人口10万人当 (件) 一月当たり	2.0
就労・増収率(%)	90.3

3 実施方法について

実施方法	委託（NPO法人いせコンビネット）①単年契約 ②随意契約
事業費	14,371千円（平成30年度）
理由 (委託)	○様々な事情で就労に至らない方の就労に向けた支援という専門性の高いサービスを提供するため、直営ではなく、これらのノウハウと経験のある団体の活用を検討。 ○支援対象は市内在住者であるため、市内に事業所がある事業者とし、地域若者サポートステーション事業を実施している団体と委託契約に至る。
事業概要	○現場管理責任者、相談支援員、訓練コーディネーター、生活・社会・就農・喫茶店訓練支援員を配置。 ○国の実施要領に基づく『相談支援・生活訓練支援・社会訓練支援・就農訓練支援』について、面接を中心に利用者と関係を築き、本人の自己決定と選択を基本として支援内容を検討。 ○パソコン研修、模擬面接や履歴書作成、協力事業所等での就労体験などを通じ、実践的な力の習得を図っている。 ○事業者独自の喫茶店(マイカフェ)訓練事業も展開。 ○各種イベントにおいて、喫茶店で調理したケーキ等や、就農訓練で収穫した農作物の販売体験も実施。
その他 特記事項	○生活困窮者就労準備支援事業と被保護者就労準備支援事業を一体で実施。（支援者の連携により、相談⇔支援⇔就労の間で利用者が安心して取り組むことができている。）

4 事業実績（H30年度）

就労準備実績	利用者	就職者	福祉就労へのつなぎ
生活困窮者	9人	6人	0人
被保護者	15人	4人	1人

※協力事業所数45か所

5 事業実施のポイント ～就労体験を通じた実践的な力の習得～

Point

○喫茶店訓練や就農訓練等の体験を通じて、就労に必要なスキルの習得を図る

【喫茶店訓練】

○訓練場所である喫茶店(マイカフェ)は委託事業者で開設運営し、マイカフェを利用するお客様に、この事業についてご理解・ご協力をいただきながら、調理場作業や接客などを体験し、挨拶やコミュニケーションスキルを高める訓練を実施している。

【就農訓練】

○就農訓練用の土地は耕作放棄地を借用し、利用者とともに石の除去や草刈を行い、耕作している。

喫茶店訓練



就農訓練



6 取り組んで良かったこと

○利用者の自己有用感の高まり、作業の効率化を図ろうと考えるなど、自立に向けての意識変化など効果が窺える。
○支援を終了した利用者が、現況報告や悩み相談に就労準備支援機関に訪れるなど、信頼関係が築かれている。